

## 平成21年度 ゴーヤー植栽日記

ゴーヤー植栽事業は、草津市地球温暖化防止市民運動の一環として位置づけられています。

### 2009年も実施します

4月末に、土づくりを行いました。

昨年使った土をふるいにかけて、古い根を取り除いた後に、腐葉土や肥料、野菜用の土を足してよく混ぜてから、プランターに入れました。



5月末に苗を植え付けるまで1ヶ月近く置いておくと、土の中に去年にできた種が残っていたらしく、知らない間にゴーヤーの苗が育っていました。個体差があるようで、早くもギザギザの本葉が広がりにだしているものもあれば、これから双葉を出そうとしている芽もありました。

早くに芽を出して育っていたらしい丈夫そうな苗を除いて、小さな芽はプランターから退去していただきました。

### 苗の植え付けとネットの拡張



5月末、草津市「小」エネルギー推進市民フォーラムが市民の方々に苗を配布されたころ、市役所も苗を植え付けました。

4月時点では去年と同じようにネットを張りましたが、横に向きを変えた方がより広くカーテンができるので、植え付けと一緒にネットの向きを変え、今までの6mから7mに広げました。広げた分としてプランター1つ分、苗を2株追加しました。

植え付けをしてから数日後、なぜか1株だけ枯れてしまったのですが、枯れた苗の両脇に去年の種から芽吹いた苗がいたので、新たな苗を植えず、生命力あふれる2株に頑張ってもらうことにしました。



写真の左側に少し写っているのは、補助的な水やり装置として使用している500ミリリットルのペットボトルです。土に刺す専用のキャップをつけて試験的に設置しています。

## 順調に育っています(7月7日)



去年と同様に、1m程度伸びたところで1回目の摘心を行い、新しく伸びた子づるが2mまで伸びたところでもう一度摘心を行っています。プランターでここまで育ってくると、土の中が根で詰まってくるので、竹串や割りばしなどで数センチおき程度に土に穴をあけ、水や空気の通り道を作ってあげる必要があります。

また、葉の色が全体的に薄くなり栄養分が不足してきたので、肥料を適時追加しています。

## 水苔を乾燥対策として設置(7月16日)



日に日に昼の日差しが強くなってきて、土が乾きやすくなってきたので、市販のミズゴケを土の上に乗せました。これで水の持ちがある程度改善されると思います。



7月16日現在の様子。上の方は葉が小ぶりなものが多いですが、ツルの先端はベランダ下まで届きました。

雄花から雌花への受粉は、虫に任せていますが、大小様々な実がなっています。



小ぶりすぎる実は間引きを行い、大きな実はわざと赤く熟れさせて種を採るか、収穫して保育所など公共施設に提供しました。

## 8月の状況(8月11日)



苗の個体差なのか葉が若干小ぶりな部分がありますが、1階の窓部分はほぼゴーヤーカーテンで覆われました。



＜右の画像＞先月までは色の薄い小ぶりな実がほとんどでしたが、8月に入って梅雨が明け暑くなったからか、肥料が遅めに効きだしたからなのか、ちらほらと色の濃い細長い実が見かけられます。なぜか手の届かない高さに生っているのが多いです。

＜左の画像＞7月中になった実は、次々と熟して鮮やかなオレンジ色に色づいています。はじけた実からは赤い種袋が見え、実の大きさによって採れる種の大きさも微妙に変わります。



はじけた実から落ちた種が、いつのまにかプランターの上で発芽していました。